

おんじゅ

volume

92

2022年秋号

《特集》

大阪くらしの今昔館9階 近世展示室10/29再オープン

大阪くらしの今昔館news
天井改修工事の記録

秋夜を愛でる一草花蒔絵熨斗形香合―

トピックス

新たな地域コミュニティを生み出す空家活用

大阪市住まいのガイド

借りる・買う・建てる・建て替える
各種住宅施策のご案内



天ちゃん、
六ちゃんも
養生中

〈今月の表紙〉

大阪くらしの今昔館9階近世展示室。
天井の改修が完了し、再オープンに向けて
足場や養生シートの撤去中。

人と住まいを結ぶ情報発信基地

大阪市立 住まい情報センター

大阪くらしの今昔館 9階近世展示室

今昔館に
またきてや



大坂町三丁目の入り口、木戸門からの眺め。両側に商家や町会所が並び、右奥には火の見櫓が見える。ここをたくさんの人が行き来する様子は圧巻。

大阪市立住まい情報センター8・10階にある大阪市立住まいのミュージアム「大阪くらしの今昔館」(以下、今昔館)。江戸時代から明治・昭和と移り変わってきた大阪の住まいと暮らしを紹介するミュージアムです。開館から20周年を迎えた令和3年に着手した大規模な天井改修工事※が令和4年9月に完了。開館準備を経て、10月29日(土)にいよいよ再オープンします。改めて、見どころや楽しみ方を学芸員のみなさんに紹介していただきます。(取材・構成 あんじゅ編集部)

※平成25年に建築基準法施行令が改正され、天井の耐震性に関わる基準が変わったため実施。

たのかを、様々な展示を通して体感することができます。

最初の見どころは、天保山ができた時代、天下の台所として賑わっていた頃の大坂の町が一望できる10階展望フロアからの眺め。瓦屋根、物干し台、路地を歩く人びとなど、ビルの中とは思えない風景が広がります。9階に移り木戸門(入り口)をくぐると、江戸時代にタイムトラベルした気分を味わえます。1日の変化を

10階展望フロア 9階常設展示室

江戸時代、天保年間(1830年代)の大坂の町を実物大で再現。10階展望フロアから9階展示室を一望したあと、架空の町「大坂町三丁目」へ。中央の通りにはさまざまな商家や会所が建ち並び、路地の奥には裏長屋などもある。商品や生活道具、1日の時間の変化、夏祭りの飾り※や演出などによる季節の変化など空間全体で当時の暮らしを体感できる。

※4月中旬から8月にかけて

大坂町三丁目の住人になったつもりで

今昔館は、小さいながらも見どころが盛りだくさんの博物館です。建物や都市空間で人びとがどのように暮らしてき



唐物屋の中には中国製の花瓶、孔雀の羽根など異国情緒あふれる様々なものが並ぶ。

音と光で演出しています。おすすめは着物を着ての来館です。住人になったつもりで歩いてみてください。着物姿の来館者が歩いていると、本当に江戸時代のまちに行ったような気持ちになります。

引き札や町家ツアーでより深く

江戸時代の町並みは、膨大な史料に基づいて緻密に再現しています。例えば、異国のものを売る唐物屋。店先に並ぶ数々の商品は、江戸時代に編纂された名所案内に描かれた絵を参考に古道具屋などから集めたもの。他にも、かまどがある薬屋の台所は、煙で壁がどう煤けるかを調査して再現するなど、細部にもとことんこだわった展示です。

より深く学びたいという方は各所に設置した引き札(解説文)、音声ガイド※をご利用ください。日曜日にはボランティア「町家衆」による町家ツアー※も開催しています。初めて



江戸時代のまちを映像で体験できる「風呂屋シアター」。再オープン後、映像が新しくなります。

Column

子ども落語で今昔館も 繁昌亭もにぎやかに



笑福亭 學光

子どもたちの落語は本当に素晴らしくて毎年楽しみです。今年で17回目、全国の落語好きな子どもが憧れる大会になりました。今昔館で予選をして、選ばれた数名だけが天満天神繁昌亭の舞台上がります。本当は全員を選びたいので、審査は毎回難しい。子どもたちが落語を披露する場が少ないので、大会以外にも今昔館で子ども寄席を定期的に開催できたらみんな喜ぶはず。

落語の舞台は江戸時代が多いので、裏長屋

やおくどさんがある今昔館は落語家にとっても勉強になることばかり。毎年開催する商店街の夏や秋のイベントでもお世話になっているので、再オープンで落語や阿波踊りでお祝いしたい。今昔館も繁昌亭もたくさんの人の楽しみや生きがいのある場所になっていたらいいですね。



第14回子ども落語大会繁昌亭の様子

しょうふくていがっこ：落語家。徳島県阿南市出身。「子ども落語大会」の立ち上げにかかり、現在も審査員を務める。



新型コロナウイルス感染防止に配慮した上でマスクを外して撮影しています。あんじゅはウェブサイトでもご覧頂けます。

1.パノラマ地図と模型。2.心斎橋筋でウインドーショッピングをしながら歩く「心づら」の風景を動く模型で展示。昭和初期に描かれたイラストマップを元に制作した。3.1912(明治45)年の様子を再現した「通天閣とルナパーク」は、乗り物が回転するなど子どもにも人気。4.「住まい劇場」の主人公、悦子の家族が営む理髪店での一場面。5.1938(昭和13)年の空堀通の模型。活気ある様子が再現されている。6.1956(昭和31)年の古市中国地。布団を干す人や掲示板を見る人の姿も。7.企画展づくりや収蔵品の管理などを行う学芸員のみなさん。右から深田智恵子さん、上田祥悟さん、服部麻衣さん。



図録やパノラマ地図などを販売しています。お土産にぜひ。



和柄の制服が目印のアテンダントさん。

展示概要
8階常設展示室

明治から昭和にかけての近代大阪の住まいと暮らしを紹介するフロア。パノラマ地図や精巧な模型、年表や暮らしの道具などを展示している。住まいの変化を物語にした「住まい劇場」の上演や、心斎橋や大正時代のテーマパークなど都市の娯楽も知ることができる。

物語で見る大阪の住まいと暮らしの移り変わり

8階では明治から昭和の高度経済成長期頃までの大阪における住まいと暮らしの変遷を紹介しています。展示室中央の床で光を放つパノラマ地図は大正13年の大阪市域を描いたもの。その周囲には6つの模型が並びます。空堀通や古市中国地など、建物はもちろん生活の様子まで作り込んであります。30分毎に上演する「住まい劇場」では、物語の一場面を再現した人形が模型と入れ替わりで出現。上演中しか登場しないので必見です。

壁面には、天神祭や心斎橋、通天閣や遊園地など都市の文化や娯楽を動く模型で紹介。生活道具、住まいの年表なども展示しています。興味のある展示から見つ、「住まい劇場」の上演を待つのがおすすめです。

学びプログラムにもチャレンジ

今昔館では「学びプログラム」にも取り組んでいます。8階では展示を見てクイズに答える「チャレンジオッター！初級編中級編を用意。全問正解で景品がもらえる」とあって、子どもにも大人にも人気です。再オープン後には9階専用

のクイズもお楽しみに。

そのほか様々な企画展やイベント、ワークショップを開催するなど、常設展示の他にも見どころがあります。都心部にあり天神橋筋六丁目駅から直結、雨にも濡れずアクセスできる便利なミュージアムです。年間パスポートを活用して、何度でも気軽に訪れてみてください。

令和3年に開館から20年を迎えました。生き生きとした展示を維持するために、日々の掃除や定期的なメンテナンスが欠かせません。学芸員以外にもたくさんの方が関わり、再オープンに向けた準備を進めながらみなさんのご来場をお待ちしています。

Column

都市居住の魅力伝える
貴重なミュージアム



橋爪 紳也

はしづめしんや：大阪公立大学研究推進機構教授。今昔館の立ち上げに参加し近代展示の企画に携わった。

大阪のミナミが故郷です。父が建築塗装屋を営み、子ども時代は十数人の住み込みの職人がいました。同級生にも商売をしている家が多く、職住近接で都心に暮らす経験をしてきました。都市居住を研究テーマとした原点です。今昔館が開館した当時、大阪の都心部は仕事に通うだけの場所になりつつありました。だからこそ都心部に住まうことの楽しさや魅力、大阪の歴史や文化、先人の苦労が素晴らしいまちを作ってきたことを伝えるという役割を今昔館に持たせました。江戸／明治／戦前／戦後など歴史を個別で捉えるのではなく、連なっているものとして見せることもコンセプトの一つです。再現した江戸時代の町並みや模型など、今昔館の展示は長い時を経て古びていません。これからも大阪の都市居住の魅力を発信していきたいですね。

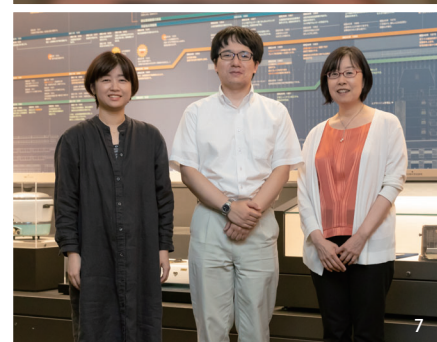
応援メッセージをいただきました！

やまもと とるき
大阪市立菅北小学校 山本 輝樹 教頭先生

小学校3年生の社会科見学で今昔館に行きます。見学した児童達は「とても楽しかった」と話しています。電気、ガスがなかった時代の生活について、わからない若い教員もたくさんおり、学習にとっても役立っています。

ふくだ じろう
天神橋筋商店会 福田 仁郎 総務部長

今昔館のすぐ隣でふとん店を営んでいます。商店街でイベントを開催する際に今昔館の入場券を景品にしたり、學光さんの阿波おどりイベントに協力したりしています。再オープン後も連携を続けていけるよう期待しています。



企画展

なにわを語る 明治・大正・昭和の絵葉書

本展では明治から大正、昭和にかけて発行された大阪ゆかりの絵葉書にスポットをあて、時代とともに移り変わる街の風景や建築、人々の暮らしや文化の醸成、趣味人たちの交流などを幅広く紹介します。絵葉書ならではの多様なジャンル、ユニークなデザイン、巧みな技法によって表現された魅力あふれる大阪の姿をお楽しみください。

- ◆会 期：令和4年10月29日(土)～12月18日(日)
- ◆主 催：大阪くらしの今昔館・日本絵葉書会
- 右ページ館情報を参照ください
- ◆観覧料：企画展のみ300円



「(大阪名所)地下鉄工事」
(昭和初期)個人蔵



「大阪市中心標除幕記念」
(特許レコード製作所、大正14年)個人蔵



「第五回内国勧業博覧会記念」
(第五回内国勧業博覧会協賛会、明治36年)個人蔵

再オープンの10/29から
イベントを実施します!!

イベント

■「イクフェス大阪2022関連企画」

町家の特別公開とカンナかけ体験

- ・10月29日(土)～30日(日)
- ・時間 13:30～16:00
- ・対象 小学生以上
- ・大阪各地で開催される「生きた建築ミュージアム フェスティバル大阪2022」にあわせ、小屋組みがみられる町家2階の特別公開とカンナかけ体験を開催します。

ワークショップ

■「再開特別企画・住教育コラボレーション」

今昔館の風景を額縁に飾ろう

- ・10月29日(土)～30日(日)
- ・時間：①11:00 ②13:00 ③14:00
- ・材料費：300円
- ・当日先着各回8名



■「企画展関連企画」

木版画はがきを刷ろう

- ・10月29日(土)～30日(日)
- ・時間：13:30～15:00
- ・材料費：200円
- ・定員なし

常設展

■商家の賑い

- ・令和4年10月29日(土)～

■季節のしつらい

■誓文払い

- ・令和4年11月12日(土)～12月4日(日)

■正月飾り

- ・令和5年1月3日(火)～1月16日(月)

イベント

■第17回 子ども落語大会(於：天満天神繁昌亭)

- ・10月1日(土)・時間 10:00～12:00・無料
- ・開催場所：天満天神繁昌亭(大阪市北区天神橋2-1-34) Osaka Metoro
- 谷町線・堺筋線 南森町駅徒歩3分、JR東西線大阪天満宮駅徒歩3分
- ・今昔館にて開催された子ども落語大会の上位入賞者が繁昌亭の大舞台に立ちます。



■乙女文案

- ・11月6日(日)・時間：14:00～15:00
- ・女性一人が一体の人形を操る人形浄瑠璃です。
- ・出演：乙女文案座



■狂言

- ・12月11日(日)・時間：14:00～14:40頃
- ・洗練された笑いの芸術を、お楽しみください。
- ・出演：増田浩紀 他

ワークショップ

■つまみ細工

- ・11月19日(土)・時間：①13:30 ②14:30
- ・材料費：300円・当日先着各回10名

■正月祝箸袋を作ろう

- ・12月18日(日)・時間：①13:30 ②14:30
- ・材料費：300円・当日先着各回10名

■折り紙で遊ぼう／☆折り紙を折ろう

- ・開催日：偶数月 第3土曜日・時間：13:30～15:00
- ・材料費：100円・当日先着16名

■折り紙で遊ぼう／☆鶴のつなぎ折り

- ・開催日：奇数月 第3日曜日
- ・時間：①初級13:30～②中上級14:30～
- ・材料費：100円・当日先着各回8名

見て聞いて楽しむ

■今昔語り

- ・開催日：11月20日(日) 12月18日(日)
- ・時間：14:30～15:00

■上方ことば塾

- ・開催日：毎月第2日曜日・時間：14:30～15:00

■紙芝居

- ・開催日：毎月第3日曜日・時間：11:00～12:00

■絵本で楽しい時間

- ・開催日：毎月第4日曜日・時間：14:30～15:00

大坂について学ぶ

■町家ツアー

- ・開催日：平日・土曜日、日曜・祝日
- ・時間：平日・土曜日 11:30～ 日曜・祝日 13:10～

■町の解説

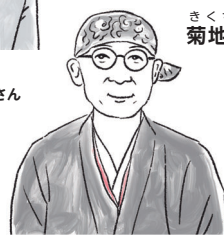
- ・開催日：毎月第1・3日曜日・時間：13:00～16:00



たけおか まさこ
竹岡 雅子さん



きくち ちえこ
菊地 知栄子さん



にしざき まこと
西崎 誠さん

「今昔館の風景を額縁に飾ろう」ワークショップで使用するパーツを準備中。細かいものをたくさん作るのが大変と言いつつ、みなさんとても楽しく作業されていた。

竹岡雅子さんにとって「町家衆の活動は加えるようになったそう。テーマパークが大好きで今昔館に興味を持ったという菊地知栄子さん。今昔館で西崎さんが開催するワークショップに参加したことがきっかけで自身も町家衆に登録。コロナ禍を経て町家衆のメンバーと再会できた嬉しさに、「改めてみなさんの存在の大きさに気づいた」と話す。好奇心旺盛でおしゃべり好きという西崎雅子さんにとって「町家衆の活動は

作業をしていたのは「今昔館の風景を額縁に飾ろう」というワークショップ(再オープンに併せたイベント。6ページ参照)に携わるみなさん。10名ほどが集まり、ダンボールの額縁やそこに貼り付ける小さなパーツを作っておられた。準備さえすればお客さんが喜んでくれる。下ごしらえの時間が一番楽しい」と話すのは西崎誠さん。町家や裏長屋などに興味があり、会社帰りに何度か立ち寄っているうちにボランティアにも参加するようになったそう。

学び、出会い、交流する場として

平成13年、開館の年に活動を開始したボランティア「町家衆」。9階常設展示室を巡る町家ツアーでのガイドや、懐かしい遊びや文化を体験できるワークショップの企画開催、団体見学の見守りなど活動内容は多岐にわたる。現在の登録数は185名。開館当初から今昔館にはなくてはならない存在だ。再オープンに向けた準備作業をする町家衆を訪ねた。

再オープンに向けて町家衆のみなさんが楽しみにしているのが来館者との出会い。西崎さんは「展示を見ながら70代、80代の方が昔の暮らしについて聞かせてくれることが楽しみの一つ。『着物姿でほかかむりをして9階の町並みに溶け込むだけでお客さんが驚いてくれる』と笑う菊地さん。竹岡さんは「たくさんの方に会える場所。コロナ前のように外国の方も訪れてほしい」と期待を膨らませる。

再オープンに向けて町家衆のみなさんが楽しみにしているのが来館者との出会い。西崎さんは「展示を見ながら70代、80代の方が昔の暮らしについて聞かせてくれることが楽しみの一つ。『着物姿でほかかむりをして9階の町並みに溶け込むだけでお客さんが驚いてくれる』と笑う菊地さん。竹岡さんは「たくさんの方に会える場所。コロナ前のように外国の方も訪れてほしい」と期待を膨らませる。

学習塾のような存在だという。それだけに得意なことがある人が集まっているので、ボランティアさんにもいろいろなことを教えてもらえる」と竹岡さん。展示のことや歴史についてわからないことは学芸員さんを見つけてすぐに質問をするので「うるさいなと思われるかも」と笑う。

大阪市立住まいのミュージアム

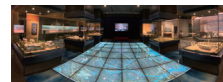
大阪くらしの今昔館

【休館のお知らせ】
9月27日(火)から10月28日(金)まで開館準備のため全館休館いたします。

【開館のお知らせ】
全館再開は、10月29日(土)です。



【9階なにわ町家の歳時記】
江戸時代の大阪の町並みを実物大で再現。大通りには、風呂屋や本屋、薬屋などが並び、ひとくわ高い火の見櫓も。路地を抜けると裏長屋の庶民の生活をかみまみることもできます。



【8階モダン大阪パノラマ遊覧】
近代大阪の代表的な住まいと暮らしをジオラマや資料で再現。

開館時間

10:00～17:00(入館は16:30まで)

休 館 日

火曜日 年末年始 その他臨時休館あり

入 場 料

一 般 600円/団体500円
高・大生 300円/団体200円(要学生証原本提示)
※団体は20名以上
※中学生以下、障がい者手帳・ミライロID等提示(介護者1名含む)、市内在住の65才以上無料(要証明書原本提示)
※企画展示室の観覧料は別途必要です。
●Osaka Metro谷町線・堺筋線、阪急電鉄「天神橋筋六丁目」駅下車3号出口より住まい情報センター建物の地階へ連絡、エレベーターで8階へ
●JR大阪環状線「天満」駅から北へ約650m

T530-0041

大阪市北区天神橋6丁目4-20(住まい情報センター8階)
TEL:06-6242-1170 FAX:06-6354-8601



※新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、定員の変更やセミナーを中止する場合がございます。その場合は「おおさか・あんじゅ・ネット」等でお知らせします。

1

住まい情報センター
主催イベント

住まい情報センターが主催するセミナー・イベントです

■住まいの基礎知識

◎住まいを購入する(全7回)
第7回 住まいのお金編②「税金と確定申告」

個別相談のみ当日抽選

●日時:12月10日(土)13:30～15:30

●場所:3階ホール

●講師:近畿税理士会税理士

●定員:会場50名オンライン100名(いずれも申込先着順)

●個別相談:定員4組(事前申込要)

◎住まいの維持管理(全3回)
第1回 メンテナンス編「戸建住宅のメンテナンス」

●日時:10月8日(土)13:30～15:30

●場所:3階ホール

●講師:NPO法人 日本ホームインスペクターズ協会
近畿エリア部会 ホームインスペクター

●定員:会場50名オンライン100名(いずれも申込先着順)

第2回 空き家対策編「空き家の管理・利活用」

●日時:10月15日(土)13:30～15:00

●場所:3階ホール

●講師:米田淳((一社)大阪府不動産コンサル
ティング協会)

●定員:会場50名オンライン100名(いずれも申込先着順)

●個別相談:定員10組(事前申込要)

第3回 リフォーム編「住まいのリフォーム」

●日時:10月30日(日)13:30～15:30

●場所:3階ホール

●講師:(公社)大阪府建築士会 住宅を設計する
仲間達・所属建築士

●定員:会場50名オンライン100名(いずれも申込先着順)

◎相続した賃貸不動産どうする?
負動産にしないために(全2回)
第1回「大家の役割～維持管理・活用編～」

●日時:11月12日(土)13:30～15:30

●場所:3階ホール

●講師:柏元真理子氏(がんばる家主の会)

●定員:会場50名オンライン100名(いずれも申込先着順)

第2回「大家の役割～税金編～」

●日時:11月26日(土)13:30～15:30

●場所:3階ホール

●講師:近畿税理士会税理士

●定員:会場50名オンライン100名(いずれも申込先着順)

●個別相談:定員4組(事前申込要)

◎住まいを借りる
「家を借りて住む」
～家探し・契約・引っ越しから退去まで～

●日時:12月3日(土)13:30～16:00

●場所:3階ホール

●講師:(一社)大阪府宅建物取引業協会研修
インストラクター、近畿運輸局大阪運輸支局

●定員:会場50名オンライン100名(いずれも申込先着順)

■住まいとくらしのワークショップ2022
DIYワークショップ
住まいをセルフメンテナンスしよう

●日時:10月22日(土)13:30～16:30

●場所:3階ホール

●講師:妹尾和江(JSHIホームインスペクター)ほか

●定員:会場30名(申込多数の場合は抽選)

●申込締切:10月8日(土)

2

住まい情報センター
タイアップイベント

住まい情報センターと住まい・まちづくりの専門家団体等が
共催するセミナー・イベントです

■タイアップ+Plusセミナー

おひとりさま幸齢学セミナー「最期まで自宅」
がいいけど、それはムリ?
どうすればいいの?！おひとりさまの住み替え

●日時:11月5日(土)13:30～16:00

●場所:3階ホール

●講師:殿村美知子(SSNおひとりさまネット代表)

●定員:会場50名オンライン100名(いずれも申込先着順)

●団体:SSNおひとりさまネット

かるた遊びから学ぶ、
家庭でできる防災防犯教育

●日時:12月11日(日)

A:11:00～11:50(各15組)
B:14:00～14:50(各15組)

●場所:3階ホール

●講師:清水麗子(片づけ防災教育士、防災士、発達
支援教育士)

●定員:A:会場15組
(就学前の子ども・保護者又は大人同伴)
B:会場15組
(小学校低学年・保護者又は大人同伴)
(A・Bともに申込多数の場合は抽選)

●参加に必要なもの:はさみ・筆記用具

●申込締切:11月27日(日)

●団体:NPO法人ふくてっく

■チャレンジタイアップセミナー

法改正から考える空き家対策・活用
法律を知って賢く対応、活用で空き家は活躍!

●日時:11月3日(木・祝)13:30～15:30

●場所:3階ホール

●講師:河田真一((一社)既存住宅・空家プロデュース
協会理事・司法書士)、猪股賢((一社)既存
住宅・空家プロデュース協会理事)

●定員:会場100名オンライン100名(いずれも申込先着順)

●個別相談:定員10組(1組20分、前後半5組ずつ)

●会場開催のみ(事前申込要。申込多数
の場合当日抽選)

●団体:(一社)既存住宅・空家プロデュース協会

●日時:12月11日(日)

A:11:00～11:50(各15組)
B:14:00～14:50(各15組)

●場所:3階ホール

●講師:清水麗子(片づけ防災教育士、防災士、発達
支援教育士)

●定員:A:会場15組
(就学前の子ども・保護者又は大人同伴)
B:会場15組
(小学校低学年・保護者又は大人同伴)
(A・Bともに申込多数の場合は抽選)

●参加に必要なもの:はさみ・筆記用具

●申込締切:11月27日(日)

●団体:NPO法人ふくてっく

■チャレンジタイアップセミナー

法改正から考える空き家対策・活用
法律を知って賢く対応、活用で空き家は活躍!

●日時:11月3日(木・祝)13:30～15:30

●場所:3階ホール

●講師:河田真一((一社)既存住宅・空家プロデュース
協会理事・司法書士)、猪股賢((一社)既存
住宅・空家プロデュース協会理事)

●定員:会場100名オンライン100名(いずれも申込先着順)

●個別相談:定員10組(1組20分、前後半5組ずつ)

●会場開催のみ(事前申込要。申込多数
の場合当日抽選)

●団体:(一社)既存住宅・空家プロデュース協会

●日時:11月27日(日)

セミナー(申込先着順):
第1部12:00～12:45 第2部14:00～14:45
ワークショップ※参加希望者のみ
(事前申込要。定員超過した場合抽選):
①インテリアファブリックで作るミニがま
口ケース
第1部11:15～12:00 第2部13:00～13:45
②インテリアファブリックで作る風呂敷
防災七変化!

第1部11:30～12:00 第2部13:15～13:30
※開催形式や定員、参加費、申込方法について
の詳細は、あんじゅネットをご覧ください。

●個別相談:あり
※詳細は、あんじゅネットをご覧ください。

●場所:3階ホール

●講師:新治照美(一級建築士、インテリアコーディネーター、
土谷尚子(インテリアコーディネーター、防災士)

●申込締切:セミナー:定員に達し申込締切
ワークショップ:11月13日(日)

●団体:インテリアコーディネーター協会関西



3

その他
住まい関連イベント

■大阪市マンション管理支援機構
マンション管理「ナイトトーク」(平日夜間情報交換会)

●日時:10月26日(水)19:00～20:30

●場所:3階ホール

●定員:30名 分譲マンションにお住まいの方が対象です。申込多数の場合は、初めて参加される方を優先して抽選します。

●申込締切:10月19日(水)

マンション管理基礎講座

●日時:①10月29日(土)②11月6日(日)
③11月13日(日)いずれも10:00～12:30

●場所:3階ホール

●定員:各日150名(会場100名、オンライン50名)
(申込先着順)連続受講が基本ですが、1日
だけ、1講座だけの受講も可能です。

マンション管理相談会

●日時:10月30日(日)13:00～16:00

●場所:大阪市立住まい情報センター4階

●定員:法律相談6組、技術相談3組、管理一般相談3組/申込多数の場合は大阪市マンション管理支援機構に登録されている管理組合の方を優先して抽選します。

●申込締切:10月17日(月)

●お問合せ先(3イベントとも):大阪市マンション
管理支援機構事務局電話(06-4801-8232)

■共催事業
想いを叶える“場”づくり×住まいのアップサイクル
～カフェやコミュニティスペースの事例から～

●日時:12月4日(日)14:00～16:00

●場所:3階ホール

●講師:コーディネーター/山納洋(大阪ガス株式会社
近畿園部 都市魅力研究室長)ほか

●定員:会場50名オンライン50名(いずれも申込先着順)

●申込締切:11月24日(木)

●お問合せ先:クレオ大阪子育て館(06-6354-0106)

参加申し込み方法

●ウェブサイトからの申し込み
申し込みは開催日の約2カ月前からになります。

●はがきまたはFAXで申し込み
記入事項を明記し、下記の住所、FAX番号へお申し込みください。
〒530-8582(住所不要) 大阪市立住まい情報センター4F
FAX:06-6354-8601

●記入事項:イベント名、住所、名前(フリガナ)、年齢、参加希望日、電話番号、手話通訳希望の有無、個別相談希望の有無など

●参加費は特記以外無料、要事前申し込み。申込先着順の場合は、定員になり次第締切。抽選の場合は、締切後も定員に満たない場合は引き続き募集します。

●申し込みの際の個人情報は、主催者で適切に管理し、イベントに関する連絡、統計データおよびイベント保険(必要な場合)への加入にのみ利用します。

●午前8時45分時点で、「暴風警報」が発令されている場合は中止とさせていただきますが、セミナー開始3時間前までに解除された場合はセミナーを実施します。

●手話通訳をご希望の方は開催2週間前までにお問い合わせください。

●オンライン受講を希望される方はウェブ사이트からお申し込みください。

【注 意】
一部のイベントを除き、参加証の発送はありません。
「申込先着順」のイベントにお申し込みいただいた場合は、イベント開催当日、直接会場にお越しください。「抽選」の場合に限り、はがきがEメールで当落をお知らせします。

おおさか・あんじゅ・ネット
▶https://www.osaka-angenet.jp

相談専用電話 (06) 6242-1177

住まいに関するご相談をお受けしています
無料
住まいの一般相談
(随時/窓口相談・電話相談)

公的賃貸住宅などの住まい探しをはじめ、住まいを購入するときや建てるときの一般的な注意点、分譲マンション管理に関する情報や大阪市を中心とした住宅施策などに関するご質問に窓口または電話で相談員が対応します。まず相談内容をお聴きして、問題点の整理・解決のために必要な知識や情報を提供します。英語・中国語・韓国・朝鮮語にも対応します。(外国語対応は17時まで)

住まいの専門家相談(予約制/面接相談)

ご予約は30日前からお受けしています。

お申込みに際しては、相談員が一般相談で内容をうかがってから予約します。詳しくはお問い合わせください。

専門家相談日時	内 容
住まいの法律	概ね毎週土曜日(10時～13時30分) 借家・借地・土地・建物・相続等に関する法律上の相談(弁護士)
住まいの資金計画	隔週土曜日(10時30分～12時) 住宅取得やローン返済、高齢期の住まいと暮らしに関する資金計画等(ファイナンシャルプランナー)
建築・リフォーム	隔週土曜日(10時～13時) 建築設計や施工上の問題・建築関係法令等(建築士)
分譲マンション(法律)	概ね月1回日曜日(13時～16時) 管理組合運営・管理規約等に関する法律上の相談(弁護士)
分譲マンション(管理一般)	概ね毎週木曜日(14時～18時) 管理組合運営・管理規約・長期修繕計画等に関する相談(マンション管理士)

連携機関による定期相談(面接相談)

(公社)大阪府建築士会による建築相談:
毎週日曜日13時～16時(受付は当日の12時30分～15時30分)
※12時30分に相談を受ける順番の抽選があります。

近畿税理士会による税務相談(予約制):
毎週土曜日(但し、2・3月を除く)13時～16時
(TEL.06-6242-1177で予約受付)

インフォメーション



新大阪 淡路 天神橋筋六丁目 天満 長柄 京橋 天王寺 御堂筋 動物園前 谷町線 東梅田 南森町 扇町公園 扇町 至南森町 至天満橋



至淡路 天神橋筋 谷町線 天神橋筋六丁目 都島通 都島橋 至都島 至桜宮 至南森町 至天満橋 至大阪 中津町 至東梅田 北区役所 扇町公園 扇町 天神橋筋商店街 天神橋筋六丁目 谷町線 天神橋筋六丁目 至南森町 至天満橋

〒530-0041 大阪市北区天神橋6丁目4-20 大阪市立住まい情報センター4階
TEL.06-6242-1160 FAX.06-6354-8601
おおさか・あんじゅ・ネット https://www.osaka-angenet.jp/



※新型コロナウイルス感染症拡大の防止等、やむを得ない状況により変更になる場合がございます。
※ご利用の際には、マスクの着用や、手指消毒、他の方との距離を最低1mに保つなど、対策にご理解・ご協力をお願いいたします。



4階 住まいのライブラリー



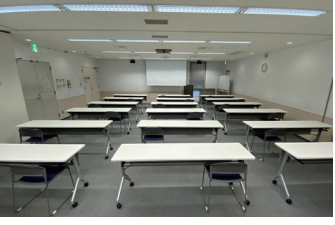
住まいのライブラリーで図書・雑誌などを利用できます
無料
住まいやくらし、大阪に関する図書、建築本や雑誌、機関誌、ミニコミ誌、企業広報誌、絵本などを自由に閲覧していただけます。また、図書の貸し出しも行っています(一部を除く)。

3階 ホール



定員:机利用の場合/150席
椅子のみの場合/300席
※控え室もあります。

5階 研修室



定員:机利用の場合/54席
椅子のみの場合/70席
※研修室は区切って、少人数でもご利用いただけます。

※新型コロナウイルス感染症拡大の防止のため、使用人数を変更しております。詳しくはお問い合わせください。

交通アクセス

●Osaka Metro谷町線・堺筋線、阪急電鉄「天神橋筋六丁目」駅下車3号出口直結
●JR大阪環状線「天満」駅から北へ約650m
●お車でお越しの場合は阪神高速道路「守口線」長柄出口 都島通り経由、約500m

開館時間

●4階 住情報プラザ(相談・ライブラリー)
平日・土曜日/9:00～19:00
日曜日・祝日/10:00～17:00
●3階 ホール/5階 研修室・会議室
平日・土曜日/9:00～21:00
日曜日・祝日/9:30～17:00

休館日

●火曜日(祝日の場合は翌日)
●祝日の翌日(日曜日、月曜日の場合を除く)
●年末年始(12/29～1/3)
※上記のほか臨時休館する場合があります。

借りる・買う・建てる・建て替える

大阪市住まいのガイド

初めて住宅を取得する新婚世帯・子育て世帯を対象に住宅ローンの利子の一部を補助します！！

対象世帯 (①又は②)

①新婚世帯
申込者及び配偶者のいずれもが40歳未満であって、婚姻届出の後5年以内の世帯

②子育て世帯
同一世帯に申込者又は配偶者の小学校6年生以下の子どもがいる世帯

補助額

年間最大10万円×最長5年間

申込期限に係る要件

住宅取得に係る売買契約日の締結日から1年を経過していない方
(売買契約から1年を経過していても、融資借入金の返済が開始していない方は対象)

住まい情報センター
相談専用電話
TEL:6242-1177

「おおさか・あんじゅ・ネット」からそれぞれの制度へリンクしています。

対象となる融資(住宅ローン)

次の要件のすべてに適合する融資
・返済期間が10年以上のもの
・融資利率が年0.1%以上のもの
・本制度の融資取扱金融機関が取り扱うもの
(詳しくはホームページをご確認ください)

ホームページ

大阪市新婚・子育て世帯向け分譲住宅購入融資利子補給制度の概要(大阪市)
https://www.city.osaka.lg.jp/toshiseibi/page/0000110240.html

申込み受付・問合せ

住まい情報センター4階 大阪市都市整備局 住宅支援受付窓口
電話:06-6356-0805
住所:〒530-8218 大阪市北区天神橋6丁目4番20号(住まい情報センター4階)
(Osaka Metro「天神橋筋六丁目駅」下車3号出口)
受付時間:平日午前9時～午後5時30分(土曜日、日曜日、祝日及び年末年始は休業)

住まいを借りる(公的賃貸住宅等)

- **市営住宅** ・住宅に困っておられる所得の低い方々向けの賃貸住宅です。原則として大阪市内にお住まいの方が対象です。
・収入基準は、一般世帯で 158,000 円以下、高齢者・障がい者世帯等で 259,000 円以下(月額所得額)となります。

募集種別(募集時期)	概要	お問い合わせ
定期募集等【抽選】 (例年7月上旬、11月上旬、2月上旬)	収入・同居親族等の条件があるほか、一般世帯・新婚・子育て・単身者向け等、各申込区分により申込資格を設定しています。一部の申込区分では、府内居住、市内在勤の方も申込みができます。	市営住宅募集センター募集担当＊ ●TEL:6882-7024 ●FAX:6882-7051
福祉目的募集【抽選】 (例年5月上旬)	ひとり親(配偶者のない方とその子ども(20歳未満)のみで構成する世帯)、高齢者(60歳以上)および障がい者(障がい者手帳(身体・精神・療育)等を所持していること)の方々が対象であり、各申込区分により申込資格を設定しています。申込書類は各区保健福祉センターで配布します。	ひとり親住宅／大阪市こども青少年局　こども家庭課 ●TEL:6208-8035 ●FAX:6202-6963 高齢者向け住宅／大阪市福祉局　地域包括ケア推進課 ●TEL:6208-8060 ●FAX:6202-6964 障がい者向け住宅／大阪市福祉局　障がい福祉課 ●TEL:6208-8081 ●FAX:6202-6962
随時募集【先着順、一部抽選】	定期募集等において、応募者が募集戸数に満たなかった住戸について、先着順で随時募集を行っています。募集住戸の追加[例年、年3回(4月・8月・12月)]があり、追加住戸については、抽選で入居者を決定します。	市営住宅募集センター募集担当＊ ●TEL:6882-7024 ●FAX:6882-7051

- **中堅層向け住宅** 公営住宅の収入基準を超えている方等、中堅所得者向け賃貸住宅(先着順)です。大阪市外にお住まいの方も申し込みができます。
- **その他の公的賃貸住宅**

住宅種別			お問い合わせ	管理者	お問い合わせ
大阪市管理	市営すまいりんぐ(子育て応援型)・市営すまいりんぐ・市営特定賃貸住宅・市営再開発住宅	市営住宅募集センター募集担当＊ ●TEL:6882-7012 ●FAX:6882-7051	大阪府	大阪府営住宅藤井寺管理センター	●TEL:072-930-1090
	大阪市住まい公社管理	大阪市住まい公社募集担当 ●TEL:6882-9000 ●FAX:6882-7021		大阪府住宅供給公社	大阪府住宅供給公社募集グループ ●TEL:6203-5454
＊市営住宅募集センター募集担当とは、大阪市営住宅指定管理者大阪市住宅供給公社市営住宅募集センター募集担当のことです。			都市再生機構 (UR都市機構)	UR梅田営業センター	●TEL:6346-3456 空室情報フリーダイヤル:0120-23-3456

- **民間賃貸住宅**

制度名称	制度概要	お問い合わせ
セーフティネット住宅登録制度	低額所得者や高齢者、障がい者、子育て世帯等の住宅の確保に特に配慮を要する方の入居を拒まない住宅として、大阪市に登録された民間賃貸住宅を、以下のサイトで検索できます。〈セーフティネット住宅情報提供システム〉https://www.safetynet-jutaku.jp/guest/index.php	大阪市都市整備局　安心居住課 ●TEL:6208-9222 ●FAX:6202-7064
サービス付き高齢者向け住宅登録制度	高齢者が安心して暮らすことができる住宅として、大阪市に登録された住宅を、以下のサイトで検索できます。〈サービス付き高齢者向け住宅情報提供システム〉https://www.satsuki-jutaku.jp/	大阪市都市整備局　安心居住課 ●TEL:6208-9648 ●FAX:6202-7064
大阪あんぜん・あんしん賃貸住宅登録制度	高齢者、低額所得者、障がい者、外国人、子育て世帯等の入居を拒まない賃貸住宅や、その仲介を行う協力店、入居の支援を行う団体、相談の窓口等が、以下のサイトで検索できます。〈あんぜん・あんしん賃貸検索システム〉http://sumai.osaka-anshin.com/	大阪府　居住企画課 ●TEL:6210-9707 ●FAX:6210-9712

※大阪市の市外局番は「06」です。※各事業の詳細は、おおさか・あんじゅ・ネット(https://www.osaka-angenet.jp/)および大阪市ホームページでご確認ください。
※補助・助成事業の利用にあたっては申請手続きが必要です。事業によって要件や受付期限が異なりますので、詳しくは窓口にお問合せください。

住まいを買う・建てる・建て替える・解体する

制度名称		制度概要	お問い合わせ
大阪市新婚・子育て世帯向け分譲住宅購入融資利子補給制度		初めて住宅を取得する新婚世帯・子育て世帯を対象に、住宅ローンの利子の一部を補助します。なお、予算の範囲内で先着順に受付します。申込みにかかる資格要件につきましては窓口までお問い合わせください。	大阪市都市整備局　住宅支援受付窓口(住まい情報センター4階) ●TEL:6356-0805 ●FAX:6356-0808
大阪市子育て安心マンション認定制度		‘子育てに配慮した仕様’と‘子育てを支援する環境’を備えた良質な民間の新築マンションを認定し、その情報を大阪市ホームページ等で広く情報発信していきます。	大阪市都市整備局　安心居住課 ●TEL:6208-9648 ●FAX:6202-7064
大阪市防災力強化マンション認定制度		耐震性及び耐火性等建物の安全性に関する基準に適合することに加え、被災時の生活維持に求められる設備・施設等の整備、住民による日常的な防災活動等により防災力が強化されたマンションを認定し、広く情報発信していきます。	大阪市都市整備局　まちなみ環境グループ ●TEL:6208-9631 ●FAX:6202-7064
民間老朽住宅建替支援事業	集合住宅への建替建設費補助	重点対策地区において、昭和56年5月31日以前建築の建物を集合住宅(マンション・アパートなど)に建替える場合、建替え費用の一部を補助します。	大阪市都市整備局 耐震・密集市街地整備受付窓口(住まい情報センター4階) ●TEL:6882-7053 ●FAX:6882-0877 ※重点対策地区および対策地区の詳細はお問合せください。
	隣地を取得した戸建住宅への建替建設費補助	対策地区において、未接道敷地や狭小敷地を解消するために隣地を売買で取得した敷地において、昭和56年5月31日以前建築の建物を戸建住宅に建替える場合、設計・解体費用等の一部を補助します。	
	狭い道路に面した古い木造住宅の解体費補助	対策地区において、幅員4m未満の道路に面する昭和25年以前建築(重点対策地区においては、幅員6m未満の道路に面する昭和56年5月31日以前建築)の木造住宅を解体する場合、解体費用の一部を補助します。	
防災空地活用型除却費補助制度		重点対策地区において、幅員6m未満の道路に面する昭和56年5月31日以前建築の木造住宅を解体し、跡地を災害時の避難等に役立つ防災空地として活用する場合、解体費用及び空地整備費用の一部を補助します。 ※本制度を活用して防災空地を整備した場合、土地の固定資産税・都市計画税が非課税になります(整備の翌年以降)。	大阪市都市整備局　密集市街地整備グループ ●TEL:6208-9235 ●FAX:6202-7025 ※重点対策地区の詳細はお問合せください。

住まいを改修する

制度名称	制度概要	お問い合わせ
大阪市耐震診断・改修補助事業	一定の要件を満たす戸建住宅等の所有者に対して、耐震診断・耐震改修設計・耐震改修工事・耐震除却工事に要する費用の一部を補助します。また、木造住宅の所有者に対して耐震事業者の情報を提供しています。	大阪市都市整備局 耐震・密集市街地整備受付窓口(住まい情報センター4階) ●TEL:6882-7053 ●FAX:6882-0877
大阪市空家活用改修補助事業	空家の利活用に向けた良質なストックへの改修を促進するため、住宅の性能向上に資する改修工事や地域まちづくりに資する用途への改修工事等に要する費用の一部を補助します。	
マンション耐震化緊急支援事業	一定の要件を満たすマンションの所有者に対して、耐震診断・耐震改修設計・耐震改修工事に要する費用の一部を補助します。	
ブロック塀等撤去促進事業	道路等に面した一定の高さ以上のブロック塀等の撤去および軽量フェンス等の新設工事に要する費用の一部を補助します。	大阪市都市整備局　民間住宅助成グループ ●TEL:6208-9228 ●FAX:6202-7064
大阪市子育て世帯等向け民間賃貸住宅改修促進事業	LDK化や断熱改修、ユニットバスの新設・改良工事等、子育て世帯等の入居に資する改修工事を行う民間賃貸住宅のオーナーに対して、改修工事費の一部を補助します。	
大阪市地域魅力創出建築物修景事業(修景に関する無料相談など)	建物の修景の促進により地域魅力の創出を図るため、「修景相談」と「修景補助」を実施するとともに、修景された建物等を活かした「魅力発信等」に取組んでいます。まずはお気軽に建物の修景についてご相談ください(無料)。	大阪市都市整備局　まちなみ環境グループ ●TEL:6208-9631 ●FAX:6202-7064
高齢者住宅改修費給付事業	介護保険制度の居宅介護(介護予防)住宅改修費の支給を受ける方が属する世帯等で、生活支援・介護予防の観点から真に住宅改修が必要と認められる世帯の住宅改修費用の一部を給付します。	各区保健福祉センター 保健福祉課
重度心身障がい者(児)住宅改修費給付事業	在宅の重度の身体・知的障がい者、難病患者等の方が、日常生活上の障がいの除去または軽減に直接効果のある改修工事を行うとき、工事費用の一部を給付します。所得制限があります(ただし、介護保険制度が適用される方は本制度の対象となりません)。なお、必ず事前に申請が必要です。	

分譲マンション管理組合の方へ

制度名称	制度概要	お問い合わせ
分譲マンション勉強会支援アドバイザー派遣制度	分譲マンションの管理組合等が実施する勉強会を支援するため、その講師として一級建築士や弁護士などの専門家を無料で派遣し、建物の技術的な内容や法的な問題等に関する一般的なアドバイスをを行います。	予約申込　住まい情報センター ●TEL:6242-1177(相談専用)
分譲マンション管理適正化支援アドバイザー派遣制度	築30年以上で管理に課題を抱えている分譲マンションの管理の適正化を支援するため、建築士・弁護士・マンション管理士などの専門家を無料で派遣し、それぞれのマンションが抱える課題の解決に向けたアドバイスをを行います。	大阪市都市整備局　住宅政策グループ ●TEL:6208-9224 ●FAX:6202-7064
分譲マンション長期修繕計画作成費助成制度	長期修繕計画の作成又は見直しを行う管理組合に対して、作成費用の一部を補助します。補助率:補助対象となる経費の1/3　補助限度額:1件当たり30万円	
分譲マンション再生検討費助成制度	再生(改修や建替えなど)に向けた検討を行う管理組合に対して、検討費用の一部を補助します。補助率:補助対象となる経費の1/3　補助限度額:1回当たり60万円	
大阪市マンション管理支援機構	公共団体や、建築、法律等の専門家団体等が連携して、分譲マンションの管理組合を支援します。登録組合には、セミナーの開催案内や情報誌等を無料で送付します。	大阪市マンション管理支援機構事務局(住まい情報センター4階) ●TEL:4801-8232 ●FAX:6354-8601

10

9

MESSAGE BOARD

メッセージボード

生きた建築ミュージアム フェスティバル大阪2022



公式ホームページ



公式ツイッター



イケフェス大阪2019の様子

◆大阪くらしの今昔館も会場になります。6ページをご参照ください。

生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪(イケフェス大阪)は、毎年秋の週末に、大阪の魅力ある建築を無料で公開する日本最大級の建築イベントです。

長いときを刻んだ歴史的な建築から、斬新なデザインの現代建築まで、あの建築家の名作から昭和の雰囲気色濃く残す街場の喫茶店まで、大阪という都市の魅力を様々な物語る100以上の「生きた建築※」が、一斉にその扉を開きます。

普段めったに入ることのできない建築の特別公開や、所有者等の案内で巡るガイドツアーやトークセミナーなど、イケフェス大阪でしか体験できない多彩なプログラムをご用意しています。ぜひ、お楽しみください。

※生きた建築とは…「大阪の歴史・文化、市民の暮らし」といった都市の営みの証であり、様々な形で変化・発展しながら、今も生き生きとその魅力を物語る建築物等」のこと

●開催期間:メイン期間 令和4年10月29日(土)、10月30日(日)

メイン期間の前後にプレ・アフタープログラムも実施予定

●開催場所:大阪市(キタ、中之島、船場、ミナミ、新世界、コスモスクエア等)ほか

●主催:生きた建築ミュージアム大阪実行委員会

*参加建物等及びプログラム等は、予告なく中止・変更する場合があります。予めご了承ください。

*最新の情報は、公式ホームページ、公式ツイッターで随時お知らせいたしますのでご確認ください。

*公式ガイドブックも発行予定。(10月初旬から全国の書店、Amazon等にて。800円+税)

令和5年度チャレンジタイアップ 事業企画提案を募集します

タイアップ事業は、大阪市立住まい情報センターが住まい・まちづくりに取り組むNPOや専門家団体と連携、協働して実施する事業です。

このたび令和5年度に実施するセミナー・イベントの企画提案を募集します。

新たな分野や、新たな視点からの取り組みを期待して、募集テーマは自由です。これまで、住まい情報センターで実施されたことのない、ユニークなテーマや仕掛けのあるイベントをお待ちしています。

詳しくはウェブサイトをご覧ください。

●応募締切:令和5年1月11日(水)



あんじゅ読者アンケートにご協力ください。



メルマガにご登録頂きますと、住まい情報センター主催のイベント情報が登録メールに配信されます。ぜひご登録ください。



おはなし会!!& 100かいだてのうちをつくろう!

【おはなし会】

・と き:令和4年11月20日(日) 13時~又は15時~

・ところ:住まい情報センター4階

・えほん:「もりの100かいだてのいえ」他、2・3冊

・講師:絵本専門士(NPO法人絵本文化推進協会登録)

・定員:各回子ども5名程度【定員超過の場合は抽選】

・対象:3歳~小学校低学年くらいまでの子どもとその保護者

・締切:11月6日(月)

【おうちづくり(ワークショップ)】

おはなし会のあと、100かいだてのうちを親子でつくります!

■みんなのおうちを写真でつなげて、100かいだてのおうちにします。後日、住まいのライブラリーで展示するので見に来てね。



「もりの100かいだてのいえ」
構成社/いらいとしお



完成作品見本



申込先



トピックス

新たな地域

コミュニティを

生み出す

空家活用



さをり織り体験(はたけもり)

地域に開かれた空家活用のための改修工事に補助制度があることを知っていますか。

これまで、この補助を利用して改修された空家では、子ども食堂、畑作業を通じた食育活動、さをり織り体験やシニアスマホ講座など、様々な活動が行われ、新たなコミュニティの創出や、まちの魅力向上に繋がっています。

ここでは、実際に活動を行う非営利団体のみなさんの声をご紹介します。

はたけもりHATA.Lab×COME.Lab (生野区)

元お米屋さんを改修し、地域と連携したイベント等を開催。併設の畑で野菜づくり体験も可能。



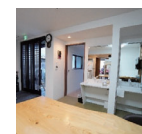
東三国ここコミュ (淀川区)

子ども食堂や、外国籍の方を含む多世代の交流の場としてイベント等を開催。



お風呂deサロン (阿倍野区)

高齢者向けシェアハウスの共用リビングを、地域の高齢者サロンとして開放。



大阪市空家利活用改修補助事業

子ども食堂や高齢者サロンなど、地域まちづくりを活性化するための改修工事等にかかる費用の一部を補助します【地域まちづくり活用型】。

また、これから居住する空家の省エネ化やバリアフリー化など、住宅の性能向上に資する改修工事等も補助の対象となります【住宅再生型】。

詳しくは大阪市ホームページをご覧ください。受付窓口までお問い合わせください。

大阪市 空家 補助



受付窓口:

大阪市立住まい情報センター4階5番窓口 06-6882-7053

Q 地域に開かれた空家活用について周囲の方の反応は?

A しばらく空家になっていた実家の改修を始めたことで、子どもの頃の友人や父母の知り合いという近所の方が

工事中にのぞきにこられ、思い出話を

して帰られることが何度かありまし

た。実際に活動を始め、ご近所さん

や知人には、いい場ができた喜んで

いただいています。(はたけもり)

私たちの見守りに役立っていると思

います。(ハルニチ)

Q 改修においてこだわった点は?

A 防音・断熱性を考慮して内窓を設置し

ました。また、居心地のいい空間をつ

くるため、明るくカラフルな壁紙にし

ています。(ハルニチ)

A 車椅子の方ができるだけ手伝い無し

で過ごせるよう、手すりの位置などを

工夫したバリアフリーにしました。

(お風呂deサロン)

Q これからの活動予定は?

A そば打ちが得意なスタッフがいるの

で、そば打ち会をしてみたいです。ま

た、高齢者や障がい者を対象に、将来

の不安について相談できるイベントを

してみたいです。(お風呂deサロン)



あんじゅバックナンバーはこちら



1.膜天井骨組、吊り足場 2.キャットウォークの設備養生 3.養生した町並みとその上空にある吊り足場 4.膜天井骨組 5.吊り足場からみる町並みと展望フロア 6.天ちゃん六ちゃんの養生



ターしました。

また天井は、9階町並みの特徴のひとつ、24時間の移り変わりを表現する映像演出の大事な要素です。夜明けとともに鶏が鳴き、町の賑わいが聞こえ、日が暮れていきます。東側の壁には月や花火が映し出されます。筒型天井の立ち上がり部分には、キャットウォークという管理用通路があり、そこに近年設置した24個のLED投光器をはじめ、200を超えるライト、音響機器、制御機器が配置されています。また月と花火の映写装置は会所・火の見櫓に置かれています。そして、これらの照

天井改修工事の記録

令和3年9月18日から閉鎖していた9階展示室・10階展望フロアが10月29日に再開します。1年を超える閉鎖は展示室天井の改修工事が目的でした。

工事の目的

9階展示室は東西36m南北33m、およそ千二百㎡あり、近世大坂の町並みが実物大模型で展示されています。その町並みを覆うのが筒型天井（ヴォールト天井）と言います。いちばん高いところで14.5mあり、高さ12.3mの火の見櫓を覆うように架かっていて、筒型の形が町並みにリアリティをもたせています。また筒型天井の中央部分は採光のために光を透過する膜天井として、ワイヤーで遮光幕を開閉することで光の量を調整できるようになっています。

工事前の天井は建物を支える構造部から吊り材で石膏ボードを吊り下げる構造の天井（「吊り天井」と呼びます）でした。

この構造は従来の基準には適合していましたが、東北など各地の地震の経験から、震動や衝撃を受けた際に脱落する恐れがあることが分かり、平成25年の建築基準法施行令の改正で、面積や高さが一定基準を超える吊り天井の改修が必要になりました。9階展示室の天井も耐震性を備えた安全な構造の天井に変える必要ができたのです。

今回の工事は、「吊り天井」から、構造部に直接天井面構成部材を取り付ける「直天井」に構造を変更することで安全性を高めることが目的でした。

工事の課題

工事にあたって難しい点がいくつかありました。まず問題となったのは、作業用の仮設足場をどのように組むかです。通常は、床面から天井面まで足場を組み上げて作業するのですが、9階には町並みがあつて不可能です。一般的な展示施設ですと、展示設備をいったん撤去し、改修後に復旧する方法も考えられますが、

9階展示室ではもちろん採用できません。そこで採用されたのは、吊り足場を用いる方法です。

吊り足場工法は、建物の構造部材（天井の梁）からチェーンなどを用いて足場を吊ることによって作業空間を確保する工法のため、町並みを解体移動をする必要がありません。また、直接床面にかかる荷重を軽減することもできました（注1）。町家の屋根（とくに瓦）の保護の観点からは、吊り足場自体が天井改修工事を行う空間と、町並みを隔てる役割を果たすため、落下物を防ぐ効果も期待できました。今回は筒型天井が立ち上がる高さ約9.6mのところの主たる仮設吊り足場を設けました。また足場自体も、軽量で簡単に組立・解体ができるものを使用しました（注2）。

町並みの保護

粉塵対策も大きな課題でした。従来の天井を撤去する際には、どうしても粉塵が発生します。また天井の素材は石膏で、解体工事による粉塵が町家の屋根や壁面・建具に付着するとその除去がたいへんむずかしく、町家の内部や展示物にも影響が出てきます。

その対策を検討した結果、町並み全体を養生シートで覆ってしまうことにしました。町並みのラッピングです。シートの

明器具・音響装置は1つのシステムで繋がりが、天井の遮光幕と連動しながら24時間の演出を行っているのです。今回は、これらに粉塵対策を施し、ケーブルや一部の機器は取り外すことになりました。

再開に向けて

この稿を執筆している8月末の段階で天井改修自体は完了し、町並みの養生シートも撤去されて工事自体は終結のフェーズに入りました。シート養生の結果、大量の粉塵の付着は防ぐことができました。町家内部も点検しましたが、空調管理の結果、結露も生じませんでした。ただその分、養生シートにはかなり粉塵が付着していたため、慎重にシート面の清掃を行ってから除去を行いました。これからの作業としては粗清掃ののち、シート養生で防ぎきれず町家の屋根・外壁、それに内部に入って付着した粉塵を取り除くこととなります。粉塵は天井の素材・石膏が含まれているために水拭きすることができず、丁寧に除去していく必要があります。また、損傷していた町家の修復も行います。実際に屋根や建物・植栽などに修復が必要な箇所を確認していて、屋根職人さん・大工さん・植栽作成の専門家に修復作業をお願いする予定です。

素材や厚さの検討に加え、シート撤去時のことも考えながら継ぎ目の位置も考慮し、前栽や祠、犬の模型の「天ちゃん・六ちゃん」も覆い枠を組んでシートをかけて保護することにしました。屋根瓦を傷めないように慎重に作業を行い、12日かけて養生が完成しました。すべてシートで養生された町並みの姿はまさに異観でした。また養生がむずかしい裏長屋の物干しは慎重に取り外しました。町家のなかの展示物で運び出せるものは運び出し、家具・調度類、さらに畳は全部上げて養生をしました。こうして粉塵の対策は決まりましたが、この方法はいわば町家を密閉して粉塵から守る対策です。

次に問題になったのは温湿度管理です。木造構造物である町家の維持には、常に湿気に気を配る必要があります。展示室の気温が上下することで養生の内部で結露が生じ、最悪の場合にはカビなどが生える可能性が心配されました。この工事は1年がかりで、夏・冬にそうした事態が心配されました。そのために、養生シートのなかに空調された空気を送って循環させることにしました。町並みを4つのブロック（4〜5つの町家が単位になります）に分け、それぞれを空調のパイプで繋いで空気を循環させます。そしてそれぞれのブロック内で空気が循環するように送風機を置き、7箇所で温湿度をモニ

こうした作業のあとに展示復旧の作業が待っています。基本的には「元に戻す」作業ですが、音と光の環境演出の復旧は手間と時間がかかる作業です。それぞれの機器・設備の点検・作業の確認のほか、24時間演出のシステム確認が必要で、さらに今回は、映写装置の更新作業も加わります（注3）。4月と10月に行っている展示替え休館の期間ではできない昼表のはり替え作業、また、動画ソフトの更新や、二次元バーコードによる多言語対応の充実も予定しています。

さて、今回の工事は、来館者に町並みを安全に見ていただくため、そしてまた大切な町並みを守るためのものでしたが、展示の裏方にあたる環境演出や空調まで関わる工事となりました。難しい課題に取り組んだ関係の皆様、そして閉鎖にご理解いただいた市民の皆様に改めて感謝いたします。

（大阪くらしの今昔館館長 増井正哉）

（注1）近世大坂の町並みは免震床上に作られています。免震床の作動に影響がない工法をとるなかで、足場全体の荷重が問題になりました。また今回使った足場は軽量である分、耐荷重に制限があり、吊り足場の上に設ける作業用足場の荷重軽減に工夫が必要でした。

（注2）吊り足場への昇降や点検のための足場は、十分な養生のうえ、町通り・裏長屋の路地に設けました。

（注3）遮光幕の開閉・風呂屋シアターの上映を含めて実際にシステムを作動させて確認を行います。

※本稿執筆にあたり（株）松陽工務店・（株）京洛サービスから情報提供をいただきました。ありがとうございます。

秋夜を愛でる

そうかまきえのしがたこうごう
—草花蒔絵熨斗形香合—



草花蒔絵熨斗形香合※(個人蔵)

上田 祥悟 (大阪くらしの今昔館学芸員)

満月が浮かぶ秋の野の風景を、蒔絵や螺鈿などの煌びやかな加飾技法を用いて表現した熨斗形の香合。香合は香料を入れる蓋と身で構成される容器で、漆器や陶磁器、竹、貝殻、金属器など、古くから素材も形も様々なものが作られてきました。本作に見られる熨斗形は結び文形とも呼ばれ、扇形などと共に江戸時代の小箱のデザインにとどまらず、当時製作された熨斗形香合の中には、ロンドンのヴィクトリア&アルバート美術館所蔵の「梅蒔絵結び文形香合」や、デンマーク国立博物館所蔵の「草花幾何文蒔絵結び文形香合」のように、蒔絵漆器を愛好する王侯貴族の多かったヨーロッパへと渡った例もありました。

本作は江戸時代から続く京漆器の老舗、象彦で明治期に製作された縦五・四、横八・三、高さ二・一センチの香合で、印籠蓋造りと呼ばれる、蓋と身の外側面が平らに重なる構造をしています。加飾表現に目を向けると、木製漆塗りの上に金の平蒔絵を主体として薄や野菊、女郎花、桔梗などの秋草が描かれ、それぞれの花や蕾には部分的に銀の平蒔絵や螺鈿技法が併用されています。夜空に浮かぶ満月の表現には、銀の薄板を嵌めた金目の技法が見られ、余白部分には金の薄板を小さな菱形に切った切金

が連なるようにして貼られています。また箱の外側面では、立体的に表現された檜垣の間から顔をのぞかせる秋草が遠近感をもって描かれています。さらにここでは側面の一部に凹みを設けることで、香合を開けやすくするという実用性を兼ね備えたデザインも見られます。箱の内部と身の底面は穏やかな金色の梨子地仕上げとなっており、小箱の随所に高度で多彩な技法表現がちりばめられていることが分かります。

外箱に付属する墨書により、本作は三井十一家のうちの小石川三井家から大阪の豪商加島屋五兵衛家へと伝わったことが明らかになりました。三井家が近代の財閥へと飛躍した明治時代に、象彦はその支援を受けながら、様々な求めに応じて高級漆器を手掛けたことが知られています。その一方で、当時製作された作品の伝存状況については北三井家や室町三井家に残された一部の作例をのぞき、詳細が不明とされています。本作はその華麗なる交流の実態を紐解く上でも貴重な資料の一つと言えます。



外箱蓋裏・落款

※箱書きには「香箱」と記されている。